

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170200291		
法人名	有限会社 ハート		
事業所名	グループホーム 安庵		
所在地	佐賀県唐津市佐志1156-26		
自己評価作成日	平成29年12月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成30年1月29日	外部評価確定日	平成30年3月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>唐津市、唐津湾、唐津城、日本三大松浦と言われる虹ノ松原が一望できる高台に位置するグループホーム2ユニットです。入居者様はもとより、訪問者の皆様にも「景色が良いですね、ほっとします」といった言葉を頂くことが多く、四季折々の移り変わりを楽しめる事もアピールの一つです。施設は開設から13年になり、入居者様も高齢となられ、一緒に何か作業をする・・・といった事が困難となっている状況はありますが、出来るだけが外気浴をしていただく、散歩、ドライブ、日光浴を行うよう努めております。施設内は、不快な臭いがないように換気、消毒には十分に気を付けています。職員も、理念に挙げているように、入居者様お一人お一人のペースを把握して自然な介護を提供出来るよう日頃から努力しています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>眺めの良い高台で環境は素晴らしく、家族にも好評である。民家は少ないが、法人内外の事業所同士が垣根を越えて協力し合っていることも特長である。更に、複数の事業所を運営している法人だからこそ可能な対応として、人員不足が生じた日の相互補充がある。日頃から交流もある社員同士であり、現場でやるべきことも十分承知している。利用者に不安を与えることなく、いつものように過ごしてもらえるよう努めている。法人の代表者でもある管理者が最近、一職員として現場に入る機会があったことも、改めて現状を知り、現場の声を実感するきっかけとなっている。今後の運営や指導、教育にも活かしたいと考えている。また、利用者の中には胃ろう栄養を受けている人も数名おり、清潔保持など特に注意を払いながらケアを行っている。</p>

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日常に目につくところに(玄関・リビング・職員用トイレ等)掲示している。	日常に目につくところに(玄関・リビング・職員用トイレ等)掲示している。	理念には法人で統一されたものとグループホーム独自のものがある。後者は事業所を開設した当時の職員達が創り上げたもので、「共に生活する家族」であると掲げた想いは現在も変わることなく引き継がれている。毎朝の唱和や目に付く場所への掲示で意識付けも図っている。同じ話を繰り返すこともある利用者に対し、初めて聞いたようにうなずきながら傾聴している姿勢には「一人ひとりのペースに合わせたぬくもりのある生活を援助する」ことが実践されているのが窺える。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議をきっかけに地域の文化祭に作品を展示したり、お祭りに参加したり、お祭り行事の一つである獅子舞の施設訪問を受けるなど、交流を図っている。 近隣の施設の夏祭りや花火大会などへも参加させて頂いている。	運営推進会議をきっかけに地域の文化祭に作品を展示したり、お祭りに参加したり、お祭り行事の一つである獅子舞の施設訪問を受けるなど、交流を図っている。 近隣の施設の夏祭りや花火大会などへも参加させて頂いている。	事業所の周辺に民家は少なく、同法人の施設が4棟、他法人の2施設が斜向かいも含め建つという現状である。夏祭り等の行事や避難訓練は法人の垣根を越えて協力し合っている。地域の情報は運営推進会議の折や、地元に住む職員から齎され、積極的な参加や交流にも努めている。近隣のゴミ収集所では、地域に暮らし利用している者として、率先して掃除も行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に多方面から出席して頂いている方へ、認知症の人の行動、症状などについて意見交換を行っています。	運営推進会議に多方面から出席して頂いている方へ、認知症の人の行動、症状などについて意見交換を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様の状況、サービス内容や行事の報告を行い、出席者より意見をいただいた事についてはスタッフの全体会議で検討して、その後の提供サービスに活かしている。	利用者様の状況、サービス内容や行事の報告を行い、出席者より意見をいただいた事についてはスタッフの全体会議で検討して、その後の提供サービスに活かしている。	隣接する同法人施設と合同で開いている。この会議を通じて地元とのつながりや理解者が大いに増えているとも自己評価では記している。行政側や地域役職者が出席していることから、事業所に関わる報告だけではなく、地域の問題点なども話題となっている。例えば、目の前の県道に横断歩道があればという意見や、個人所有の橋が老朽化で倒壊を危惧していることなど、福祉部門の市職員が他部署へ持ち帰ってくれたりもしている。家族の参加も促し、当外部評価の結果も報告する予定である。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日頃より気になる事は、分からない事などは、介護認定係や高齢者支援課などに問い合わせをしている。	日頃より気になる事は、分からない事などは、介護認定係や高齢者支援課などに問い合わせをしている。	運営推進会議で顔馴染みのメンバーだけではなく、高齢者支援課とも問い合わせ等で接する機会は多い。最近の例では、申請用紙の様式が変わったことを教えられ助かっている。行政側には課題等があれば一緒に取り組む姿勢もあり、協働関係は築けている。また、介護相談員も受け入れており、月に一度、各ユニットに一時間ほど訪問している。気付き等があればきちんと伝えてもくれ、利用者との橋渡し役として期待している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束排除宣言」内容を記載したものを提示して身体拘束ゼロを目指して実践しています。	「身体拘束排除宣言」内容を記載したものを提示して身体拘束ゼロを目指して実践しています。	入居契約時に指針を説明している。これまでに事例はなく、職員は身体拘束をしないケアを実践している。玄関に施錠はしておらず、センサーによるチャイムは鳴るが職員が目配り等によって見守られている。仮に外へ向かう利用者があれば暫く一緒に歩き、無理に引き返すことはない。行動は抑えないというのが基本である。職員には研修もあり、受講した者による他の職員への伝達講習もきちんと行われている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設外研修に出向いて学ぶ機会を持ち、伝達講習を行っている。	施設外研修に出向いて学ぶ機会を持ち、伝達講習を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設外研修に出向いて学ぶ機会を持ち、伝達講習を行っている。	施設外研修に出向いて学ぶ機会を持ち、伝達講習を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書を読み上げ、利用者、家族様の不安や疑問点を伺い、時間をかけて納得して頂けるよう努めている。	契約書を読み上げ、利用者、家族様の不安や疑問点を伺い、時間をかけて納得して頂けるよう努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月1回行う、運営会議(理事長、各棟の管理者、主任)から、各棟で行う。全体会議で協議し、改善するように努め運営に反映させています。	月1回行う、運営会議(理事長、各棟の管理者、主任)から、各棟で行う。全体会議で協議し、改善するように努め運営に反映させています。	家族の来所時にはお茶なども出しながら何でも話してもらえるよう努めている。遠方であったり、なかなか会えない家族には電話を掛けることはもとより、毎月の利用料送付の際に同封する近況によって伝えることもある。家族は当外部評価の事前アンケートに、よく話を聞いてくれる、訪ねると対応が良く行き易いとも答えている。事業所には意見を真摯に聞く姿勢がみられ、外部に苦情相談の窓口があることも書類に明記されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の全体会議で話し合い、改善するように努め運営に反映させています。	職員の全体会議で話し合い、改善するように努め運営に反映させています。	月一回の職員会議はユニット毎に開かれ、要領よく進めるための工夫もある。次回会議までの間、議題として取り上げてほしいことや気付きが書き込める用紙を貼っておくのがそれである。職員は業務の中で抱いた疑問点や提案なども自由に記している。ここに挙がったことは現場の声であり、改善や向上に繋がるきっかけとなっている。管理者として心掛けていることは、残業なく終業時間に職員を帰すことである。そのためには時間配分や優先順位の付け方を身に付けてほしいと考えている。職員とのコミュニケーションも大切にしながら、法人代表者としての配慮も窺える。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に1回(3月頃)個人面談を行い、悩み、希望を聞き、その個人を知るようにし、内容によっては顧問税理士、労務士に相談をしながら働きやすい環境を整備している。	年に1回(3月頃)個人面談を行い、悩み、希望を聞き、その個人を知るようにし、内容によっては顧問税理士、労務士に相談をしながら働きやすい環境を整備している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個人のレベルにあった研修を施設内外を問わず平等に受ける事が出来るようにしています。	個人のレベルにあった研修を施設内外を問わず平等に受ける事が出来るようにしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	唐津市内のグループホームの集まりで、月1回勉強会があり、その時は1号館、2号館より各1名ずつ出席してホームに持ち帰り、伝達講習を行いサービスの向上に努めている。	唐津市内のグループホームの集まりで、月1回勉強会があり、その時は1号館、2号館より各1名ずつ出席してホームに持ち帰り、伝達講習を行いサービスの向上に努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人様の意向を聞き、ケアプランを作成して、説明するようになっている(同意して頂けたらサインを頂くようになっている)	本人様の意向を聞き、ケアプランを作成して、説明するようになっている(同意して頂けたらサインを頂くようになっている)		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様の意向を伺い、プランを作成して、説明するようになっている。長期訪問のない方については郵送して理解を得るようにしている。	家族様の意向を伺い、プランを作成して、説明するようになっている。長期訪問のない方については郵送して理解を得るようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族様の意向を聞きケアプランを作成して説明するようになっている(同意して頂いたらサインを頂くようになっている)	本人、家族様の意向を聞きケアプランを作成して説明するようになっている(同意して頂いたらサインを頂くようになっている)		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	理念に挙げていて、日頃から上目線ではなく、共に過ごし合えるように努めています。	理念に挙げていて、日頃から上目線ではなく、共に過ごし合えるように努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の面会が遠退いている利用者様へは、寂しくない様に何とか月1回程度は外出する機会を設け、日頃からコミュニケーションを多くとるようにしている。	ご家族様の面会が遠退いている利用者様へは、寂しくない様に何とか月2回程度は外出する機会を設け、日頃からコミュニケーションを多くとるようにしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様の希望を聞きながら、外出、ドライブ、自宅への帰省等支援している。馴染みの方の訪問時は、お茶、お菓子等お出しして、ゆっくりして頂けるようにしています。	本人様の希望を聞きながら、外出、ドライブ、自宅への帰省等支援している。馴染みの方の訪問時は、お茶、お菓子等お出しして、ゆっくりして頂けるようにしています。	利用者の来し方や生活環境等は、本人や家族はもとより、担当のケアマネジャーや場合によっては利用していたサービス事業所などからも話を聞き情報を集めている。それらを基に、行きつけの美容院へ通う人、盆正月や法事等には一時自宅へ帰る人、電話の取次ぎもまた希望に沿っている。訪問理容で訪れる理容師が偶然、利用者の馴染みの店主で久々の再会となった例もある。届いた年賀状に返事を書くことも難しい現状ではあるが、事業所では関係が継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングやソファールにおき、利用者同士が話しやすいようにしている。	リビングやソファールにおき、利用者同士が話しやすいようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院されたらお見舞いに行ったり、電話をしたり、近くにおいでの際は、施設にも寄って頂けるようにしています。	入院されたらお見舞いに行ったり、電話をしたり、近くにおいでの際は、施設にも寄って頂けるようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時に本人、家族様に介護に対する意向を聞き、出来る限り本人本位でいられるようにしています。	入居時に本人、家族様に介護に対する意向を聞き、出来る限り本人本位でいられるようにしています。	利用者が想いを話してくれるのは隣で話し相手をしている時や、昭和の音楽を聴いたり映像(DVD)を観ている時などが多い。若い頃の話しながら今の想いが聞けることもある。聞き取ったことは伝達ノートや直近の職員会議を通し全員に周知され共有を図っている。そこからケアプランに反映させた例もある。発語の少ない利用者とは、笑顔で接すると応えてくれる経験を活かし、想いの把握に努めている。また、ホワイトボードを使ったコミュニケーションも功を奏している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々コミュニケーションをとり、本人様との雑談の中から生活歴を聞き、又家族様から情報を得て、アセスメントに落とし込み把握するようにしています。	日々コミュニケーションをとり、本人様との雑談の中から生活歴を聞き、又家族様から情報を得て、アセスメントに落とし込み把握するようにしています。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々コミュニケーションを取り、フェースシートに落とし込んで把握するように努めている。	日々コミュニケーションを取り、フェースシートに落とし込んで把握するように努めている。			
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にサービス担当者会議を開き、それぞれの意見を聞き会議計画を作成しモニタリングを行っている。	定期的にサービス担当者会議を開き、それぞれの意見を聞き会議計画を作成しモニタリングを行っている。	ケアプランの設定期間は6か月ごととしているが、変化があれば臨機応変に見直しを行っている。本人の希望は日々のケアの中で把握し、家族の要望等は会話の中から汲み取っている。具体的な意見というより、穏かに過ごしてほしいと願う家族が殆どである。毎月のモニタリングでは目標に対するサービス内容、利用者や家族の満足度、計画修正の必要性等々を細かく分析しており、それは事業所オリジナルのケアプラン実施表によって裏付けされている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カルテの経過記録を熱計表は、日勤、夜勤、特別に変化があった時に記載する。又、スタッフ全員に伝えたい事は、伝達ノートに記載して、情報を共有して実践や介護計画に活用している。	カルテの経過記録を熱計表は、日勤、夜勤、特別に変化があった時に記載する。又、スタッフ全員に伝えたい事は、伝達ノートに記載して、情報を共有して実践や介護計画に活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズに応じ、他の事業所の支援体制が取れるようにしている。(デイサービス・ショートステイ・訪問介護サービス等)	ニーズに応じ、他の事業所の支援体制が取れるようにしている。(デイサービス・ショートステイ・訪問介護サービス等)		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員、慰問のボランティア、警察、消防の方に協力して頂き、暮らしを楽しむことができるようにしている。	民生委員、慰問のボランティア、警察、消防の方に協力して頂き、暮らしを楽しむことができるようにしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望される医療機関をかかりつけ医とし、必要に応じて往診が受けられるようにして、定期受診は、家族が付き添う。出来ない時は職員が対応している。	希望される医療機関をかかりつけ医とし、必要に応じて往診が受けられるようにして、定期受診は、家族が付き添う。出来ない時は職員が対応している。	入居前からのかかりつけ医を持つ人、2週間に一度の往診などを考慮し協力医への変更を決めた人等々、それぞれの意向に沿ったかかりつけとなっている。他科受診が必要な時は、まず本人や家族の希望を尋ね、求められれば経験から病院を探すこともある。受診に職員が付き添う場合は、その結果報告も当日中に行われ、家族からは信頼を得ている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホーム内に看護師が居て日常の健康管理や適切な受診看護が受けられるようにしている。	ホーム内に看護師が居て日常の健康管理や適切な受診看護が受けられるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は定期的に面会に行ったり、電話をしたりして、医師、看護師と情報交換を行っている。	入院中は定期的に面会に行ったり、電話をしたりして、医師、看護師と情報交換を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	時期が来たらかかりつけ医、看護師、スタッフで、終末期のあり方について話し合い、本人や家族に意向を確認し、対応方法を文書で説明、同意を得ている。	時期が来たらかかりつけ医、看護師、スタッフで、終末期のあり方について話し合い、本人や家族に意向を確認し、対応方法を文書で説明、同意を得ている。	入居契約時に「重度化した場合の対応に係る指針」を示し同意も得ている。これまでに看取りの経験があり、今後も希望があればその用意もある。ターミナル開始と共に職員の不安解消等にも配慮したフォローを行っている。隣接する施設も含めると看護師資格を持つ職員も複数おり、携帯電話の通信アプリを活用した連絡網や情報のやり取りもリアルタイムで可能となっている。容態の変化に伴い、家族の気持ちも揺れ動くことを踏まえ、何度でも話し合いを重ねる事としている。本人や家族が安心して最期を迎えられるよう支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当、初期対応、救急救命の勉強会は行っている。	応急手当、初期対応、救急救命の勉強会は行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得て定期的に訓練を行い(5月・11月)、消防、通報、避難誘導方法が見につくようにしている。	消防署の協力を得て定期的に訓練を行い(5月・12月)、消防、通報、避難誘導方法が見につくようにしている。	年2回、消防署にも立ち会ってもらい、少し暗くなった時間帯にも避難訓練を行っている。法人内外の隣接する施設合同で行い、避難先も斜向かいの他法人に受け入れをお願いしている。同日に毎回AED講習を行っていることも特長である。利用者も一緒に避難を体験し、職員は消火器や火災通報装置の使い方も承知している。また、非常食や水、寒さを凌げる物の備蓄もあり、これはスプリンクラーが作動した時に濡れることを想定すると必需品でもある。自然災害では、過去に近所の落雷で累が及んだこともあり対策を立てている。今回の聞き取りで火災通報装置に自動音声による一斉連絡機能があるか否か、あれば実際の設定状況はどうかなどが浮かび確認することとしている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日頃から尊厳を持って接する様に、理念や教訓を目につく場所に掲示して、本人の気持ちに配慮した言葉かけがさりげなく出来るようにしている。	日頃から尊厳を持って接する様に、理念や教訓を目につく場所に掲示して、本人の気持ちに配慮した言葉かけがさりげなく出来るようにしている。	排泄や入浴介助は最も配慮が必要な場面である。ドアは閉める、周囲に見えない立ち位置で等々、基本的なことを日々続けている。もし不適切なケアを目にした場合、まず本人に考えさせ気付かせる指導を行うとしている。また、個人情報の取扱いに対する職員の意識は高く、事例などを示し注意喚起も行っている。ケアに関わる内容を大きな声でやり取りすることも同様である。入居契約時には「個人情報の使用に係る説明」を示し同意を得ている。これには居室の名札や本人の写真、行事等で家族と一緒に写ったものも含まれている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いを聞き、出来るだけ自己決定が出来るようにしている。	本人の思いを聞き、出来るだけ自己決定が出来るようにしている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホーム内での全体に日課はあるが、中でもどのように過ごしたいか希望を聞き、ケアプランを作成して、個々に沿った対応をしている。	ホーム内での全体に日課はあるが、中でもどのように過ごしたいか希望を聞き、ケアプランを作成して、個々に沿った対応をしている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理美容に関しては、訪問利用を利用したり、行きつけのある方は家族か職員が付き添い、その人らしい身だしなみが出来るように支援している。	理美容に関しては、訪問利用を利用したり、行きつけのある方は家族か職員が付き添い、その人らしい身だしなみが出来るように支援している。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは、本人の希望を聞きながら、又食べやすい形で提供し少しでも食べて頂けるように支援している。 出来る利用者様には食事の準備、後片づけを手伝っていただく事もある。	メニューは、本人の希望を聞きながら、又食べやすい形で提供し少しでも食べて頂けるように支援している。 出来る利用者様には食事の準備、後片づけを手伝っていただく事もある。	メニューは当番の職員が利用者に食べたい物を尋ねたり、冷蔵庫の中身を見ながら考えている。家庭で見られるごく普通の光景である。好き嫌いやアレルギー有無の把握もしており、苦手な食材等の時には代替が用意されている。利用者に食欲があり、食べ易い形状や器等にも工夫をしている。また、誕生日は当日に祝い、希望のメニューやケーキも用意されている。職員と利用者は一緒にテーブルを囲み、同じものを食べながら必要に応じて介助や声掛けで促し、穏やかな食事風景である。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は、朝、昼、夕とカルテに記入して、摂取量が少なければバイタルサインをチェックして医師に報告し指示を仰ぐ。 健康のバロメーターとして早期に異常の発見努め、お一人お一人に応じた支援を行っている。	食事摂取量は、朝、昼、夕とカルテに記入して、摂取量が少なければバイタルサインをチェックして医師に報告し指示を仰ぐ。 健康のバロメーターとして早期に異常の発見努め、お一人お一人に応じた支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、本人のレベルにあった口腔ケアを行っている、自力で出来る人、一部介助が必要な人、全介助が必要な人(必要に応じての支援)	毎食後、本人のレベルにあった口腔ケアを行っている、自力で出来る人、一部介助が必要な人、全介助が必要な人(必要に応じての支援)		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	頻回な見守りをして、併設パターンを知り、そして把握できたら、さりげなくトイレに誘導する。	頻回な見守りをして、併設パターンを知り、そして把握できたら、さりげなくトイレに誘導する。	排泄に関して自立している利用者も若干名いる。しかし任せたままでなく、さりげない見守りと確認も行っている。日中はトイレでの排泄を主とし、チェック表によるパターンの把握もできている。これにより予測が可能となり、入居後にオムツ類使用が改善され、利用者の費用負担減に繋がった例もある。日頃から職員にはコストに対する意識があり、使用するオムツ類の選択等にも活かされている。また、トイレ内の設備では便座回りにひじ掛けもあり、自立を促す補助具にもなっている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	旬の繊維の多い野菜を食材に多く取り入れ提供する。10時、15時はお茶したり、ホーム周辺を散歩したりと工夫している。	旬の繊維の多い野菜を食材に多く取り入れ提供する。10時、16時はお茶したり、ホーム周辺を散歩したりと工夫している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一応曜日は決まっているが、作業後お風呂に入りたいとの要望があればシャワー浴を提供したり、ゆっくり入りたいという要望があれば納得されるまでの時間をかけている、又入浴を拒否される方へは、時間を置き何度も声掛けを行うようにしている。	一応曜日は決まっているが、作業後お風呂に入りたいとの要望があればシャワー浴を提供したり、ゆっくり入りたいという要望があれば納得されるまでの時間をかけている、又入浴を拒否される方へは、時間を置き何度も声掛けを行うようにしている。	入浴は一日置きとしているが、風呂の準備は毎日できている。入浴後には「気持ちよかった」と言ってもらえるものの、拒む利用者には職員の工夫や誘導の上手さが発揮されている。体調不良など入浴が難しい時は清拭や足浴なども行っている。浴室にはリフト浴の設備があり、歳を重ねていく利用者にとって安全な入浴が可能となっている。また職員にとっても体への負担が軽減されている。冬場のヒートショックにも配慮があり、脱衣場脇にトイレがあることも使い勝手が良い。衣服の脱ぎ着はできるだけ本人に任せ、職員は見守りながらのケアである。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温には気をつけ、エアコン、電気毛布、電気カーペット、ファンヒーター、湯たんぼ、空気清浄機、除湿器を使用したり、疲れて足が腫れている人には、足を高くしてたりして、居室、リビングで休息をとって気持ちよく眠れるように支援している。	室温には気をつけ、エアコン、電気毛布、電気カーペット、ファンヒーター、湯たんぼ、空気清浄機、除湿器を使用したり、疲れて足が腫れている人には、足を高くしてたりして、居室、リビングで休息をとって気持ちよく眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬効、副作用が理解できるように一人一人の最新情報の薬の効能が書きを各個人のカルテに閉じて情報共有している。	薬効、副作用が理解できるように一人一人の最新情報の薬の効能が書きを各個人のカルテに閉じて情報共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居時に生活歴を聴取して、希望に添った楽しみ、役割の支援をしている。	入居時に生活歴を聴取して、希望に添った楽しみ、役割の支援をしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物や散歩、ドライブ等、希望に添った外出支援に努めている。	買い物や散歩、ドライブ等、希望に添った外出支援に努めている。	話題を振っても興味を示すことは少なくなったが、出掛けた後は喜んでもらえている。車椅子対応車両もあり、ドライブやおやつ等の買物にも出掛け、職員の食材買出しに同行する利用者もある。職員には、歩行が難しくなった場合でも車椅子に移乗できるならば外の空気をという思いがある。天候や体調をみながら出来る範囲で努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持したいと言う希望があれば3,000円程度は持てるようにして、又買い物の時など施設が立て替えるようにしている。	お金を所持したいと言う希望があれば3,000円程度は持てるようにして、又買い物の時など施設が立て替えるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や大切な人に電話が出来るように支援している。	家族や大切な人に電話が出来るように支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日頃より喚起をしたり快適な温度でいれるようエアコンを入れたりしている。又玄関には花を飾ったり、観葉植物を置いたりして居心地よく過ごせるようにしている。	日頃より喚起をしたり快適な温度でいれるようエアコンを入れたりしている。又玄関には花を飾ったり、観葉植物を置いたりして居心地よく過ごせるようにしている。	換気には注意を払い、居室でも不在時を見計らって窓を開けている。リビングには座り心地で選んだソファが多く配置され、横になる利用者もいて、思い思いに寛いでいる。日中はみんなの声が聞こえる場所(リビング)で過ごす人が多い。廊下に歩行を妨げる物はなく、手摺り伝いに歩き、運動をする利用者もある。また、道路脇ではあるが騒音は殆どなく、季節によって入る強い日差しはレースカーテン等で調節している。手を触れる箇所は消毒も行い、浴室やトイレはきれいに掃除されている。嫌な臭気はない。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには自由に過ごせるよるソファ等置き、談話したりテレビをみたり、思い思いに過ごせるようにしている。	リビングには自由に過ごせるよるソファ等置き、談話したりテレビをみたり、思い思いに過ごせるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	仏壇、タンス、布団、テレビ等、使い 慣れたものを持ち込み、本人が居心 地よく過ごせるようにしている。	仏壇、タンス、布団、テレビ等、使い 慣れたものを持ち込み、本人が居心 地よく過ごせるようにしている。	火気等の危険物以外に持ち込む品 物への制限はしていない。居室には ベッドの他に整理だんすや三段ボッ クスの備えもある。仏壇を持つ利用 者には毎日職員が水やお茶を供 え、落ち着いて過ごしてもらえよう 支援している。掃除を手伝える利用 者は一緒に行い、整理整頓に関し ては本人に任せ見守っている。季節 毎の寝具の入れ替えや衣替えは担 当職員が主になり手配している。家 族が希望すれば居室への宿泊も可 能である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や 「わかること」を活かして、安全かつできる だけ自立した生活が送れるように工夫して いる	バリアフリーにして、段差をなくした り、廊下、トイレ、風呂等手すりをつ けたり、ナースコールを付けたりして 出来るだけ自立した生活が送れる ようにしている。日付、曜日が分かり やすいように大きいカレンダーを使 用している。	バリアフリーにして、段差をなくした り、廊下、トイレ、風呂等手すりをつ けたり、ナースコールを付けたりして 出来るだけ自立した生活が送れる ようにしている。日付、曜日が分かり やすいように大きいカレンダーを使 用している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない